

社会福祉法人松戸市社会福祉協議会
令和5年度第2回松戸市居場所づくり全体会議要旨

1 日 時 令和5年7月13日(木) 午後1時30分～2時45分

2 会 場 松戸市社会福祉協議会 第1・2ボランティア室

3 議 事

1. 開 会

2. 松戸市社会福祉協議会会長挨拶

3. 報 告

(1) 「まつど DE つながるステーション」活動助成金交付要綱の改正について

(2) 各地区の進捗状況報告について

4. 議 題

(1) 会長の選出について

(2) 「まつど DE つながるステーション」の活動費の精算について
(常盤平地区・新松戸地区)

(3) 「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について
(明第一地区・矢切地区・小金原地区・馬橋西地区)

5. その他

4 出 席 者

(1) 出席委員(8名)

会長	小川 早苗	松戸市社会福祉協議会 会長
副会長	恩田 忠治	松戸市町会・自治会連合会 会長
委員	安蒜 正己	松戸市町会・自治会連合会 副会長
委員	山崎 恵	特定非営利活動法人まつどNPO協議会 理事
委員	松村 大地	特定非営利活動法人まつどNPO協議会 理事
委員	伊東 朱美	松戸市総合政策部 部長
委員	上野 真一	松戸市市民部 部長
委員	藤谷 隆	松戸市生涯学習部 部長

(2) 出席機関(6名)

松戸市総合政策部地域共生課

(3) 事務局(8名)

松戸市社会福祉協議会

5 議事内容

- 「まつど DE つながるステーション」活動助成金交付要綱の改正について
事務局より説明。

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

- 各地区の進捗状況報告について
松戸市地域共生課より説明。

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

- 会長の選出について

松戸市居場所づくり全体会議会長について、松戸市居場所づくり全体会議設置要綱に基づき選出。会長は互選により小川委員が推薦され、異議なしとして承認された。

- 「まつど DE つながるステーション」の活動費の精算について

(1)常盤平地区

実績報告額 39,857 円 交付額 40,000 円 返納額 0 円

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

常盤平地区プレイベント開催概要

プレイベント名	まつど DE つながるステーション in ときわ平
目的	常盤平地区において実行委員会が立ち上がり、今後、様々な活動を常盤平地区で進めて行くことを地域住民へ周知し、定期開催へ活かす。
開催日時	令和 5 年 4 月 23 日 (日) 13 時 30 分～16 時
開催場所	特別養護老人ホーム明尽苑 (金ヶ作 296-1)
開催内容	・輪投げ、じゃがいもパターゴルフ、バルーンアート、射的、メダカすくい、出店コーナー ・常盤平地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	子どもとその保護者、高齢者
参加者人数	162 人
運営者人数	約 50 人
広報手段	チラシ配布 / ポスター掲示 / SNS 投稿 / その他 (口コミ、各実行委員の活動での告知)
実績報告額	39,857 円

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

(2)新松戸地区

実績報告額 39,405 円 交付額 40,000 円 返納額 0 円

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

新松戸地区プレイベント開催概要

プレイベント名	新松戸地区「まつど DE つながるステーション」プレイベント
目的	・地区内で、居場所づくりの取り組みを始めることを周知する。 ・参加者の反応などを確認・検証し、定期開催のプログラム構築等へ活かす。
開催日時	令和 5 年 5 月 27 日(土)10 時～12 時
開催場所	新松戸市民センター(新松戸 3-27)
開催内容	・古本市(配布、持ち込み等を実施) ・茶などを飲みながら本を通じた多世代間交流 ・新松戸地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施(回答率 90.7%)
主な対象者	新松戸地区在住者及び在勤、在学者
参加者人数	119 人
運営者人数	15 人
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS 投稿／その他(口コミ、各実行委員の活動での告知)
実績報告額	39,405 円

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

■「まつど DE つながるステーション」の承認・活動費の支出について

(1)明第一地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

明第一地区ステーションの開催概要

ステーション名	はばたけ明第一 ～世代をこえて～
目的	地域の子どもから高齢者までの多世代交流のきっかけづくりを進めていく。
期間	令和 5 年 8 月～令和 6 年 3 月
開催場所	根本倶楽部、岩瀬自治会館、岩瀬住吉公園、稔台市民センター、明市民センター 等
開催内容	・地区内の各(第 1～第 5)ブロックを巡回して子ども、保護者、高齢者向けの運動・遊び・出し物を通じて、多世代交流を図る ・明第一地区および市内の各種情報提供

	・アンケートの実施
主な対象者	明第一地区在住者及び在勤、在学者
参加者人数	1回 20～50人程度
運営者人数	1回 10～20人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（口コミ、各委員の活動での告知）
助成金申請額	320,000円

各委員からのご質問、感想・ご意見はなし

(2) 矢切地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

矢切地区ステーションの開催概要

ステーション名	矢切地区「まつど DE つながるステーション」
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
期間	令和5年11月～令和6年3月
開催場所	総合福祉会館、町会会館 等
開催内容	・ワークショップや茶話会等を通じての多世代間交流 ・矢切地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	矢切地区在住者及び在勤、在学者
参加者人数	1回 100人程度
運営者人数	1回 15人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（口コミ、各委員の活動での告知）
助成金申請額	200,000円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

ワークショップの講師を依頼するため予算に謝礼金が計上されているのか。

【回答】

ワークショップの講師を依頼するための謝礼金であり、内容はダンスや折り紙等を想定している。

(3) 小金原地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

小金原地区ステーションの開催概要

ステーション名	小金原地区「まつど DE つながるステーション」
---------	--------------------------

目的	ステーション活動を通じて地域への愛着を持ってもらう。
期間	令和5年8月～令和6年3月
開催場所	小金原7丁目西町会会館等
開催内容	・世代を問わずに集える場を通じて多世代間交流を図る ・小金原地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施
主な対象者	小金原地区在住者及び在勤、在学者
参加者人数	1回30人程度
運営者人数	1回10人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（口コミ、各委員の活動での告知）
助成金申請額	320,000円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

ステーション内容の目的が地域への愛着を持ってもらう、期待できる効果としてステーション活動を来訪者が進めて行くようになっており特色があるが、小金原地区ではどういった議論をしているのか。

【回答】

ステーション活動をしていく中でタウンミーティングを並行して行い、内容を検討していったらどうかとの意見がでてくる。来ていただいた方に話を聞きながら共に活動を進めていきたいと考えている。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

【感想・ご意見】

参加する人たちの中でアイデアを出していくというのは新しく、参考になった。

(4)馬橋西地区

松戸市地域共生課より説明。異議なしとして承認された。

馬橋西地区ステーションの開催概要

ステーション名	「みんなでワイワイ」
目的	ステーション活動を通じて、多世代間交流の機会を創出する。
期間	令和5年9月～令和6年2月
開催場所	・馬橋小学校 ・馬橋市民センター 等
開催内容	・ユニバーサルスポーツの体験やサロン等での多世代間交流 ・ステーション活動の周知 ・馬橋西地区および市内の各種情報提供 ・アンケートの実施

主な対象者	馬橋西地区在住者及び在勤、在学者
参加者人数	1回 100人程度
運営者人数	1回 20人程度
広報手段	チラシ配布／ポスター掲示／SNS投稿／その他（ロコミ、各委員の活動での告知）
助成金申請額	280,000円

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

馬橋小学校のどこで開催し、学校も運営側として参加するのか。

【回答】

馬橋小学校の体育館を借りることで話を進めており、学校は運営には関わらない。

■その他

各委員よりいただいたご質問の概要

【質問】

全体会議のスタンスについて聞きたい。イベントの内容を精査すればよいのか、思ったことを質問すればよいのか。承認基準や目的があるがもっと大枠なところを含めて検討すればよいのか。

【回答】

各地域の活動については、承認基準を基に検討していただきたい。また、居場所づくり全体について検討する場でもあるので、忌憚ない意見をいただきながら進めていきたい。

各委員よりいただいた感想・ご意見の概要

【感想・ご意見】

地区に特化した目的や現状があると思うが、目的だけみるとどの地区かわからない。地区ごとのニーズや意見があると思う。

誰でも参加できるとあるものの、地区の事業計画には対象者の設定があり、活動助成金交付要綱でも“主たる対象者の設定はあるが対象外の方の参加を可能としている”となっていることから、主なターゲットを設定するものなのかと思っている。

ステーション活動をしていく中で議論が深まり、ステーションの意義が明確になってくると思うので期待している。

6 その他

今後の予定

令和5年度第3回松戸市居場所づくり全体会議の開催

日時：令和5年11月17日(金) 午後1時30分～